

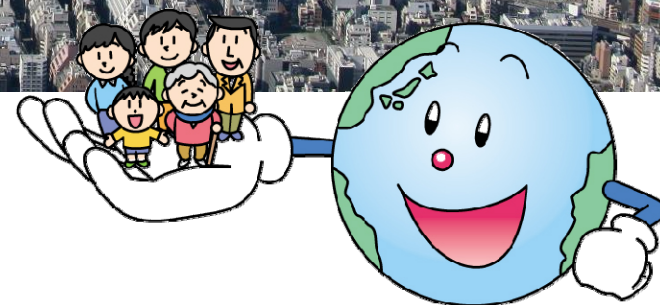
環境モデル都市 千代田

千代田区から発進～環境と経済の共生～



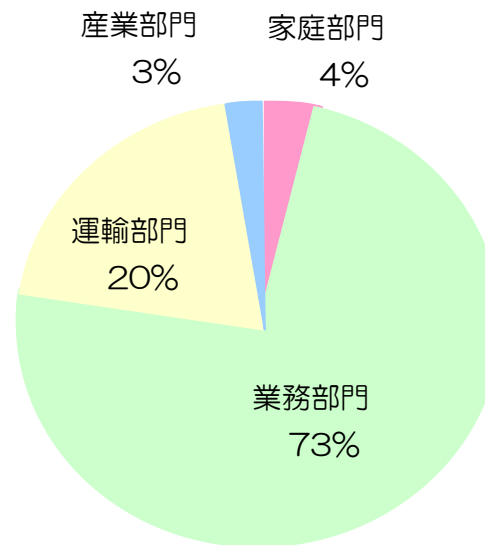
低炭素都市推進国際会議2009

千代田区長 石川雅己

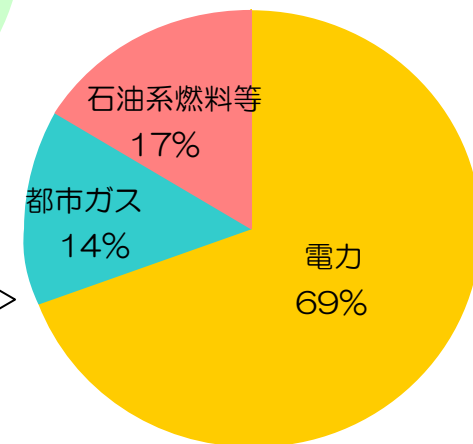


1.千代田区の紹介

- ▲ 面積は11.64km²であり、東京都で5番目に小さい
- ▲ 人口は4.6万人の夜間区民に対し、85万人の昼間区民
- ▲ わが国の政治・経済の中心であり高度な業務機能が集積
- ▲ 皇居を中心とする水と緑に囲まれた豊かな自然環境
- ▲ オフィスを中心とする業務部門の電気使用量が膨大



2005年度のCO₂排出量のエネルギー源別内訳



2.千代田区が温暖化対策に取り組む意義

日本の政治・経済の中心

高度な業務機能集積

活発な事業活動・都市整備



CO₂排出量の増大・多大なるエネルギーの使用



積極的な
地球温暖化対策

都心千代田の使命

2007年 千代田区地球温暖化対策条例

☀ 条例のポイント ☀

- 中期対策目標・・・2020年までに、区全体でCO₂排出量を1990年比で25%削減
- 区、区民、事業者等の責務について明記

2009年 環境モデル都市 千代田

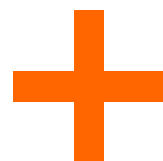
低炭素型大都市モデル

大規模ビル集積地
～都市の機能更新に
対する取組み～



ビル街

中小ビル集積地
～既築建物に
対する取組み～



環境共生型大都市モデル

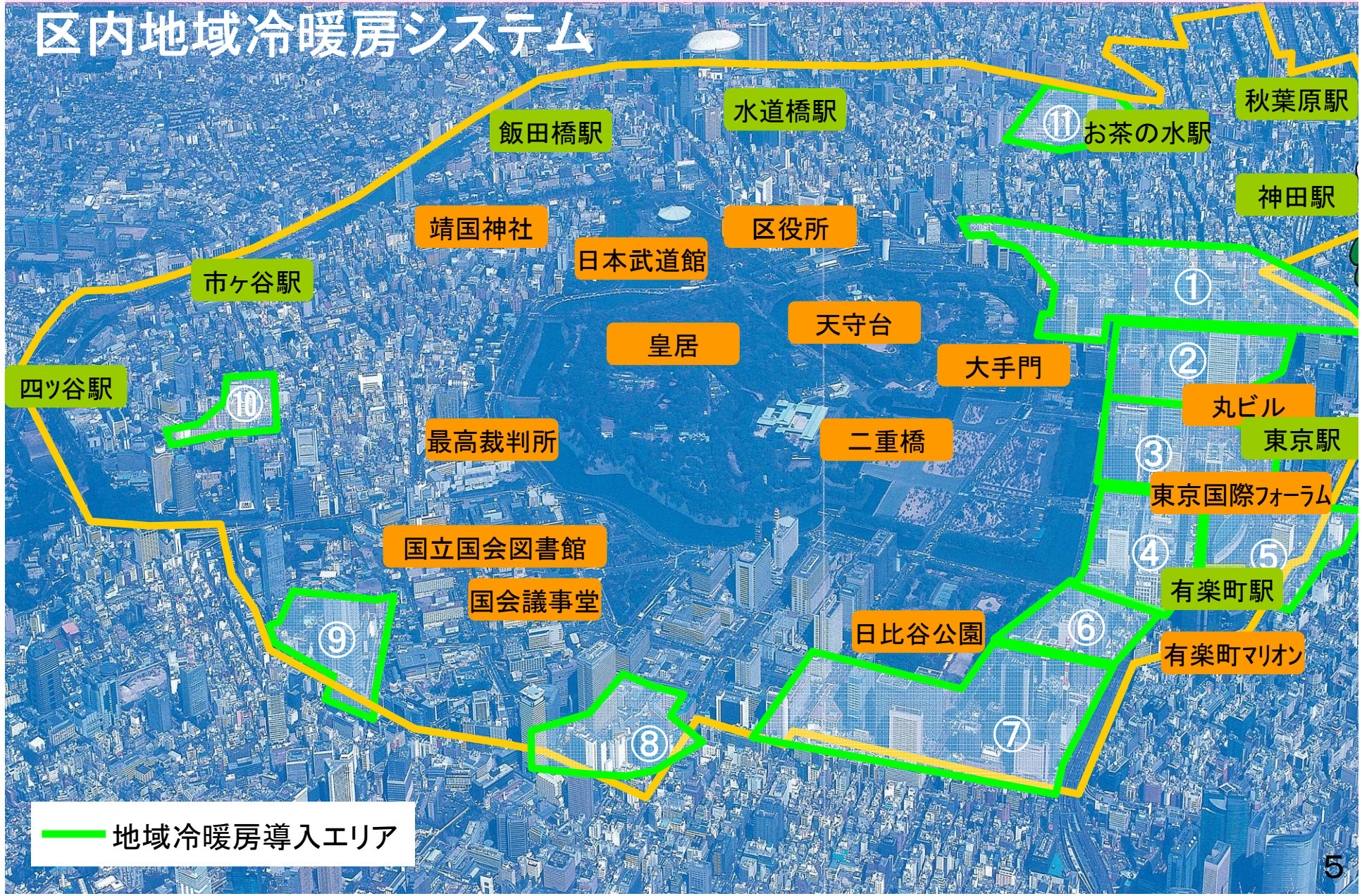


千鳥ヶ淵ポート場

豊かな地域づくり

3. 大規模ビル集積地 都市の機能更新に対する取組み ～地域冷暖房システム～

区内地域冷暖房システム

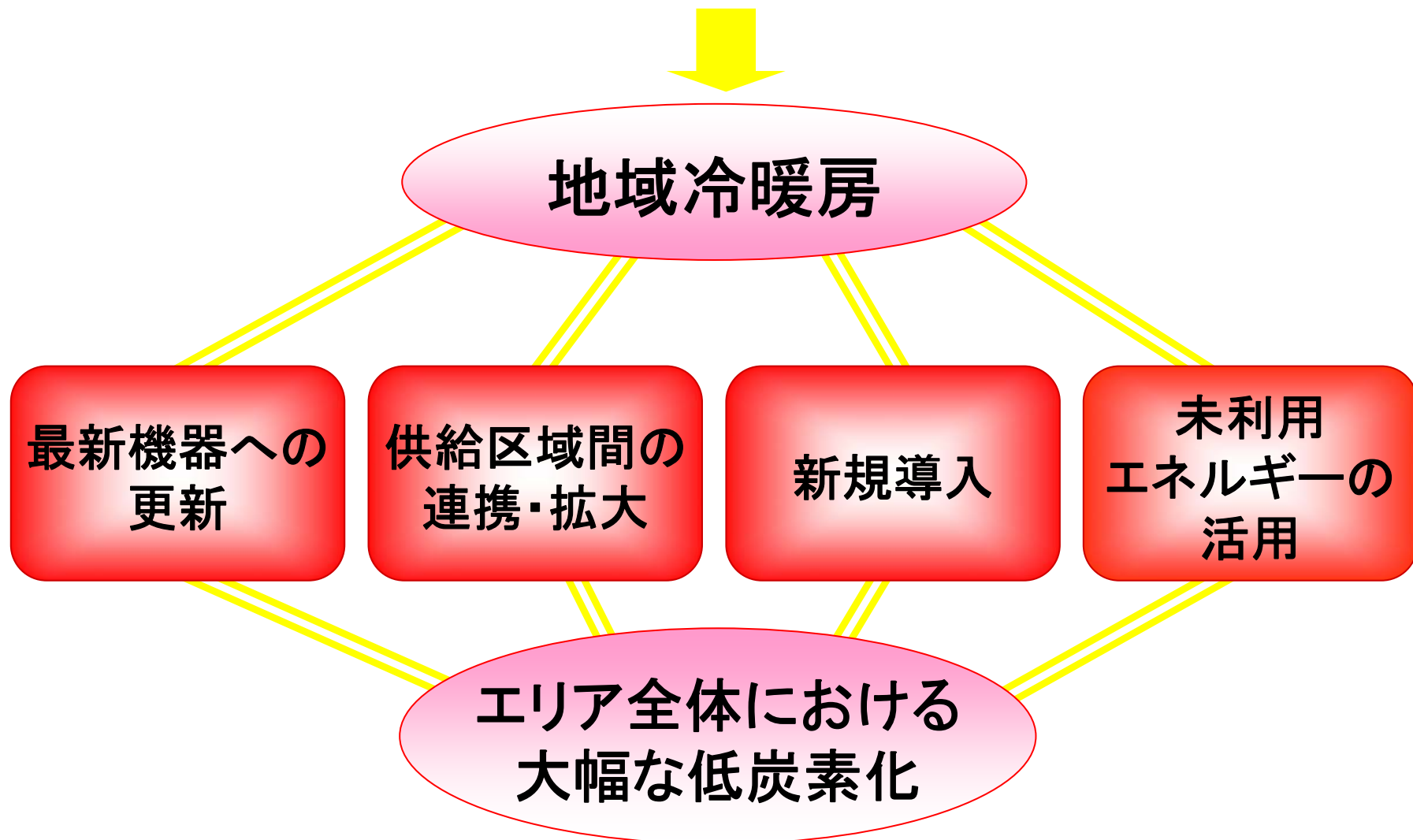


区内の地域冷暖房システム

設置数：11箇所(都内76箇所)

供給面積：区面積の約14%

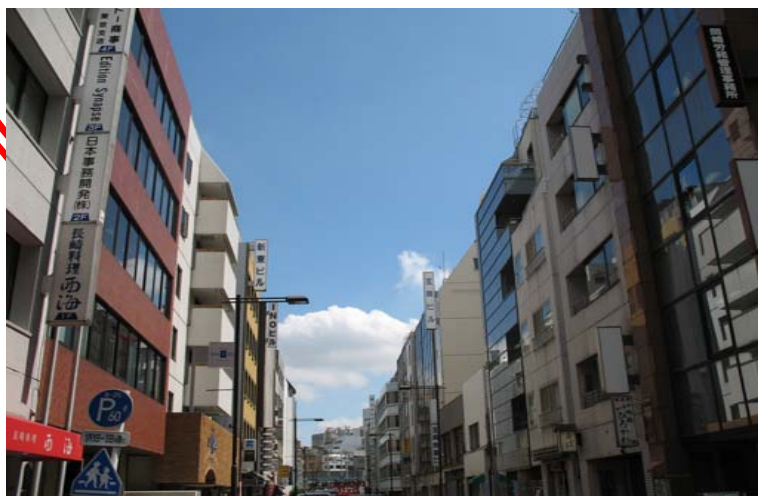
(平成20年12月現在)



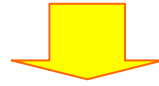
4. 中小ビル集積地 既築建物に対する取組み

～グリーンストック作戦～

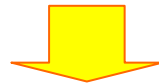
神田駅西口周辺地区



12,000棟以上の既築建物への省エネ化が必要



国内初のエリア・街区を対象にした「グリーンストック作戦」の実施



①地域との協議

②省エネ化・低炭素化モデル街区の指定

③推進協議会設立

④省エネ診断

⑤省エネ改修・運用改善

⑥地域報告会における省エネ効果の共有

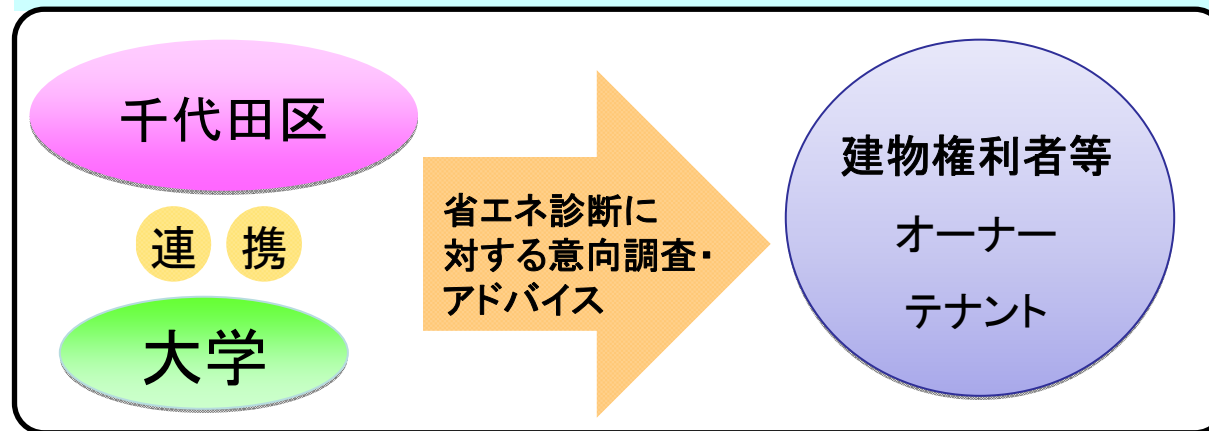
⑦他地区への波及拡大

グリーンストック作戦モデル街区例～神田駅西口周辺地区～

● 2009. 2月 基礎調査 ●

- ・目的: グリーンストック作戦の効果の推定及び指定モデル地区の基礎的状況の把握
- ・対象: 神田駅西口周辺地区内の建物約260棟
- ・調査内容: 建物概要、建物用途、空調・照明・給湯方式など
⇒ 大学との連携調査(早稲田大学、芝浦工業大学)
- ・調査結果: 建物形態やエネルギー消費等の基礎データ収集・分析

2009. 7月 神田駅西口周辺地区推進協議会設立



期待される効果と将来展望

- ① 省エネ診断後の共同改修及び機器の共同購入による経費削減
- ② 継続的な協議会活動による啓発・交流・コミュニティーの場の定着及び取組みの拡大